

# 市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース 92号

## ITAMI大好き! 2018年5月

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

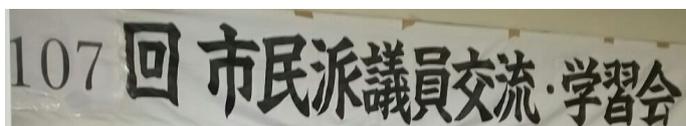
毎月発行（年4回はカラーA3・その他はA4）しており、ポストイング・駅などでの配布・郵送などでお届けしています。



相崎 佐和子

## 夜間中学校の充実を! ~近畿市民派議員学習会~

4月20日（金）、尼崎市で開催された「近畿市民派議員交流・学習会」に参加しました。これは近畿の無所属議員が集まって学習や交流をする会で、今回がなんと第107回です。



### ■研修1 「市民自治のまちづくり」 尼崎市長 稲村和美氏

「市民自治のまちづくり」を進める尼崎市。自分達の街を自分達でつくっていく仕掛けや取り組みを展開中です。自治をメインにして市政運営を進める稲村市政になって約7年半。ずいぶん浸透してきた様子を、隣の伊丹市でも感じます。都市間競争の時代、各基礎自治体が特色を活かして人口増加を目指しており、伊丹市も、伊丹ならではの良さを活かして「住みたい街 住み続けたい街」へと全力で取り組み中です。とはいえ近隣市と人口の取り合いをするのも不毛な話。近隣市同士、良い意味で切磋琢磨しながら同時に連携も深めて、地域全体を活性化させていければと思います。

### ■研修2 「尼崎版子どもの育ち総合支援拠点」 尼崎市こども青少年部 センター準備担当課長

尼崎市では、旧トマス大学の跡地を「あまがさき・ひと咲きプラザ」として再整備し、一画を「子どもの育ち支援センター」にするそうです。0～18歳の子どもと保護者への切れ目ない支援を目的に、①ワンストップ相談窓口による総合相談、②発達相談支援、③家庭児童相談、④教育相談・不登校対策を実施予定で、2019年秋ごろ開所予定だそうです。伊丹市では「こども発達支援センター（通称：あすばる）」がありますが、“あすばる”より総合的なセンターのようです。ぜひ参考にしたいと思います。

### ■研修3 「夜間中学の役割と課題」 尼崎市立成良中学校 琴城分校教諭 桜井克典氏

#### ○夜間中学とは

様々な理由により義務教育を終了できなかった人・不登校等のためにほとんど学校に通えなかった人・本国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学ぶ学校。公立中学校であり、授業料は無償で週5日。全国に31校（2017年現在）で、兵庫県内は3校。生徒層は、日本人（2割）、在日朝鮮人（2割）、中国帰国者（3～4割）、新渡日者（2割）。尼崎は中国残留邦人系が多く、8割がネパール人の学校も。

#### ○兵庫県の課題

- ・入学要件（神戸分校は神戸市在住者のみ、尼崎琴城分校は市内在住在勤者のみ）
- ・在籍年数（神戸分校は3年で卒業、尼崎琴城分校は柔軟に対応）
- ・就学援助（居住市が負担するルール。神戸市は支給、尼崎市は不支給）
- ・入学時期（神戸分校は1学期末まで入学可能、尼崎分校は4・5月のみ入学可能）
- ・認知不足（夜間中学校の知名度の低さ。行きたい人に存在が伝わっていない）
- ・地域偏り（西播磨地域にも夜間中学校を）



夜間中学校の桜井先生